

さんさんクラブ みやぎ



～ 健康・友愛・奉仕 ～

平成27年度

第130号

平成27年10月30日発行

■公益財団法人
宮崎県老人クラブ連合会
宮崎市原町2-22
TEL(0985)25-7800

■発行責任者 松元 道文

単老写真報告

諸塚村寿会連合会
川内老人クラブ
会長 田崎 勝
会員 16名



▲「にこヘル」に参加した皆さん



▲「にこヘル」介護予防体操

千エック

- 第40回宮崎県さんさんクラブ大会開催
- 第14回さんさんクラブ宮崎スポーツ大会
- 元氣インタビュー

「にこにこヘルスアップ教室」、通称「にこヘル」。にこヘルでは、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、同世代の仲間と楽しみながら体操やレクリエーションなどで生活機能の向上を図ることを目的に、地域包括支援センターと単位老人クラブが協働し、6年前から毎年2クラブを指定して開催されております。今年度は川内老人クラブと小原井老人クラブで月に2回、にこヘルコーディネーターを中心にヘルスアップ体操や楽しい脳トレなど多彩なプログラムが企画され、毎回楽しみにしている会員も多くいます。

10月9日に川内地区で行われた「にこヘル」では、男性会員4名、女性会員12名、地域包括支援センター2名、にこヘルコーディネーター2名、諸塚村診療所理学療法士1名、他1名、合計22名が参加し、体力測定をメインに行いました。4ヶ月前の測定結果と比較したことで自分の身体能力を知り、体力維持・向上の為には体力づくりを継続して行っていくことが大事だと知る機会となりました。これからも、こうした活動を通して各々の健康づくりはもちろんのこと、会員同士の絆を深めみんなで支え合う地域づくりを推進して参ります。

第40回宮崎県さんさんクラブ大会開催



▲さんさんクラブ大会式典

第40回宮崎県さんさんクラブ大会は、平成27年8月28日宮崎市民文化ホールにおいて、県内の老人クラブ会員と高齢者福祉関係者約1000人が参加して盛大に開催されました。

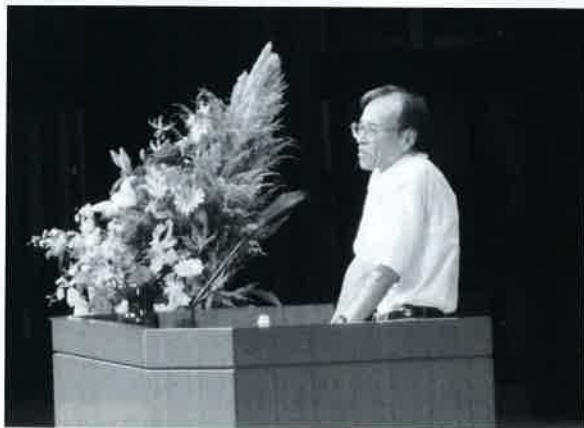
式典には共催者である宮崎県の稲用博美副知事、来賓として県議会を代表して中野廣明副議長、市

町村長を代表して河野利美国富町長に出席を頂き挨拶・祝辞を賜りました。その他にも多くの来賓の出席を頂きました。

第一部では老人クラブの発展に功績のあった個人・クラブや、会員加入促進に功績のあったクラブの表彰が行われ、また、仲間づくり、健康づくり、ボランティア活動に先進的に取り組んでいる団体に対し、全国老人クラブ連合会「活動賞」が、また、全老連において今年度新たに創設された「100万人会員増強運動特別賞」の伝達が行われました。

第二部は宮崎大学教育文化学部教授の戸島信一先生から「人生90年時代を生き抜くために―シルバ―世代の賢い生き方(スマートフォン)―」と題してご講演いただきました。超高齢社会の中で、我々高齢者がどのように生きていけばいいのか、地域社会の中で豊かに

生きていく上での気持ちの持ち方、考え方、或いは行動の仕方についてお話しいただき、大変心の安らぎを覚えると共に、参加者一同大いに勇気づけられました。



▲戸島信一教授の講演



▲優良老人クラブ会員知事表彰を徳地市次氏が代表で受彰



▲受彰者と会場風景



宮崎県老人クラブ連合会長表彰

◆老人クラブ役員永年勤続功労者

市町村名	氏名	市町村名	氏名	市町村名	氏名
宮崎市	清水 公	日向市	日出健一郎	えびの市	田代クサノ
〃	為実 村	〃	黒木 九一	〃	押領司 勲
〃	権藤 忠良	〃	河野マドカ	〃	押領司那智子
〃	小池 修	〃	寺原 人見	〃	永友 隆雄
〃	西川 真司	〃	緒方 英正	〃	徳重 政秀
〃	日高 虎雄	〃	石田 剛稔	〃	小川 博
都城市	和田 譲	串間市	門川 公雄	〃	江藤 則男
〃	亀田 タミ	〃	時任 俊一	三股町	大浦 芳英
〃	松永 洋子	〃	河野 ナチ	高原町	松元 藤好
延岡市	高橋 進	西都市	前谷 由忠	国富町	杉尾 包三
〃	甲斐 忠二	〃	猪股 康治	綾町	松永 篤富
〃	岩切 敏子	〃	原田 郁夫	木城町	那須 岩男
日南市	井上ユリ子	えびの市	土田 ユミ	〃	黒木津矢子
〃	北山九州男	〃	内田 貞利	都農町	黒木 弘
小林市	寺園 良信	〃	白川 節夫		
〃	海蔵 浄子	〃	原田アツ子		
日向市	伊達ハマ子	〃	上野 克己	計	48名

◆平成27年度会員加入促進功労賞

◎会員拡大功労クラブ

市町村名	クラブ名	市町村名	クラブ名
宮崎市	南部老人クラブ	小林市	夏木老人クラブ
〃	上富吉老人クラブ	えびの市	あじさいクラブ
〃	ひまわり中西	〃	大明司さんさんクラブ
〃	井倉老人クラブさくら会	三股町	小鷲巣若竹会
延岡市	旭寿会	高原町	上広原老人クラブ
〃	地下さんさんクラブ	川南町	中央長寿会
〃	歌系上サンサンクラブ	〃	青鹿長寿会
日南市	上平野高齢者クラブ	椎葉村	上椎葉長寿会
〃	屋野高齢者クラブ	日之影町	福寿会
小林市	北西三東老人クラブ		
〃	幸ヶ丘老人クラブ	計	20クラブ

◎復活クラブ

市町村名	クラブ名	市町村名	クラブ名
都城市	若葉元気会高齢者クラブ	高千穂町	跡取川清流会
〃	木下高齢者クラブ	日之影町	長谷川東クラブ
日向市	永江永親会		
門川町	ひまわり会	計	6クラブ

◎新規発足クラブ

市町村名	クラブ名	市町村名	クラブ名
宮崎市	さんさんクラブ京友会	延岡市	さんさんクラブ五ヶ瀬
〃	大塚台県住天寿会	〃	さんさんクラブ野田東
〃	青島1区元気クラブ	〃	さんさんクラブ楓
〃	青葉台さんさんクラブ	新富町	伊倉さくら会
〃	さんさんクラブ若杉会		
〃	下加納さんさんクラブ	計	10クラブ

受彰者名簿

宮崎県知事表彰

◆優良老人クラブ

市町村名	老人クラブ名
宮崎市	八重高齢者クラブ
延岡市	サンサンクラブ貝の畑
〃	白石青葉会
西都市	妻笠狭高齢者クラブ
川南町	中央長寿会
門川町	松瀬ふれあいクラブ
〃	下納屋高齢者クラブ
諸塚村	立岩寿会
五ヶ瀬町	第1区楽友会
計	9クラブ

◆優良老人クラブ会員

市町村名	氏名	所属クラブ名
宮崎市	川俣 勲	小松台ハイランドむつみ会
〃	徳地 市次	和知川原一区さんさんクラブ
〃	山田 時治	宮崎市老人クラブ連合会
都城市	蔵元 勝義	蔵元高齢者クラブ
延岡市	原田 勝由	さんさんクラブ野地
串間市	浅野スミ子	西小路1区九十九会
〃	谷口 秀光	中原高齢者クラブ
〃	川崎 浩平	崎田はまゆうクラブ
西都市	横山 昭雄	上野高齢者クラブ
えびの市	山下 優	中島高齢者クラブ
高鍋町	富田 高明	潮会
都農町	河野 淳	心見十日会
日之影町	甲斐 岡一	常盤高齢者クラブ
椎葉村	那須 利光	鹿野遊長寿会
美郷町	佐藤富三郎	生和百年会
計	15名	

◆全国老人クラブ連合会会長「100万人会員増強運動特別賞」伝達

市町村名	老人クラブ名
宮崎市	井倉老人クラブさくら会
小林市	幸ヶ丘老人クラブ
三股町	小鷲巣若竹会
川南町	中央長寿会

◆全国老人クラブ連合会会長「活動賞」伝達

部門	市町村名	老人クラブ名
仲間づくり活動部門	小林市	北西三東老人クラブ
健康づくり活動部門	小林市	通り町新生町老人クラブ
ボランティア活動部門	宮崎市	リベラルーっ葉さんさんクラブ

単位クラブ紹介

「絆」は強く

「解散なんて考えられない」

日向市高齢者クラブ連合会 会長 甲斐政夫

日向市南部に位置する石並長寿会は昭和39年に結成されて以来51年が経過しています。

国道10号線改良時に高齢者の交通事故が多発したということで、昭和41年に当時の会長の発起で交通安全地蔵菩薩像を建立しました。

以来、今日に至るまで長寿会主催で、毎月の境内清掃、年一回の祈願祭を欠かさず行い、交通安全と偉大な先人を偲んでいます。

また、営々として築いてきた先輩方の業績を記録に残そうと、有志が集い「石並長寿会沿革史」の編纂に取り組み平成21年度ようやく完成しました。

記録には、歴代役員、健康、教養、友愛、奉仕の諸活動や物故者に至るまで克明に記されています。

現在は、歴代会員の業績に恥じることはないよう、沿道の花植栽と管理、道路清掃、公営駐車場及びトイレの清掃は勿論、研修講座、グラウンド・ゴルフ、輪投げ、昼食会等を計画的に行っています。中でも好評なのが『室内ミニ運動会』です。より元気に、より楽しく、より強い絆を！というこで始めたのですが「やって楽しい」「見て面白い」と全員参

加の一大イベントに発展しました。

このように、先輩方が築きあげてきた業績、守り育ててきた伝統行事の一層の充実を図ろうとしているのが石並長寿会の偽りのない気概であります。

公民館役員の中の高齢者は皆長寿会に入ろうという呼びかけでそれが実現！

次の会長は〇〇さんだ！と集まりの中の会話は常に明るく前向きです。

「解散なんて考えられない」といった実態の長寿会です。



交通安全地蔵と祈願祭



元気に、より楽しく！ミニ運動会



平成21年完成の石並長寿会沿革史

50周年を迎えて

延岡市さんさんクラブ連合会 会長 宮本良治

「日向のべおか内藤様よ 昔忍べば桜の花も」これは延岡市の古くから伝わる日向延岡小唄である。

延岡は昔内藤藩七万石と、大正12年に立地した旭化成工業との、宮崎県北部唯一の企業城下町として、県内外からの人の交流があり、農漁村と近代工業で繁栄した都市である。

そんな延岡市に昭和35年7月、延岡市の有志先覚者の方々により、地元企業や篤志家等の寄付や援助により、高齢者対策としての健康問題等を重点に研修しながら、会員相互の親睦と団結を深める為の活動組織、「不老会」を誕生させ活動していたが、昭和38年8月「老人福祉法」の施行により発展的に解散し、昭和39年11月「健康・友愛・奉仕」を三大活動としての「延岡市老人クラブ連合会」を発足した。

その後、平成7年度に「延岡市高齢者クラブ連合会」と名称を変更したが、その間、昭和52年4月には地区連合会が6地区に設置され、併せて婦人部制が設置されるなど、組織体制の充実を図った。平成12年度は180クラブ・8,600名の会員、(一クラブ47.8人)であったが、その後クラブ数、会員数共減少を生じる中で、平成17、18年度に北方町・北浦町・北川町の三町が延岡市に広域合併し、平成19年度は186クラブ・会員数7,800名に増加したものの、その後には会員の高齢化、後継者不在等諸々の要因により、新規発足クラブ・復活クラブ・会員増加のクラブはあるものの、全体的

には毎年前年に比べると、減少気味で推移している。

そこで平成26年4月、「延岡市高齢者クラブ連合会」を、発足五十周年の節目に当たり、「未来に向け輝けるクラブ」として、会員の意識の高揚を図る為、「延岡市さんさんクラブ連合会」と名称を変更し、100万人増強運動を期に50年の貴重な歴史と実績「礎」を踏まえ、会員の更なる団結と活性化に、鋭意努力しているところであり、高齢者クラブ活動をマスメディアを通じて、市民に知らしめているところである。

ご承知の如く、本年4月介護保険制度が改正され、全国一律の予防給付を市町村独自の地域支援事業に移行し、地域包括ケアシステムの充実が図られることとなり、地域に合った福祉、地域の福祉は、地域で、を進める為にも、高齢者クラブは、更に仲間づくりにより絆を深め、お互いが助け合い支え合い健康づくりに取り組みむことが必要であり、今後高齢化社会にとって、高齢者クラブは高齢者対策を進める中で、大事な組織であり役目を帯びていると思うところであります。



第14回さんさんクラブ宮崎スポーツ大会が開催

爽やかな秋晴れの下に… 1,000名が熱戦



今年度の「さんさんクラブ宮崎スポーツ大会」は、爽やかな秋晴れの天候に恵まれ開催されました。大会には、4種目に約1000人が出場し、選手たちは、日ごろの練習の成果を如何なく発揮しました。開催に先立ち、開会式では、優勝カップ返還に続き、松元会長の激励をこめたあいさつがあり、河野知事からは、講演会で聞かれた7掛けの年齢(80歳の人は、まだ50歳代半ば)を目標に生きる方法があることを紹介され、ますます本大会が盛り上がるよう祈念すると挨拶がありました。その後、高鍋町の松山昭磨さん(86)と新名陽子キミさん(81)の力強い選手宣誓がありました。準備体操では、「いきいきクラブ体操」を小林市老連の兒玉千佳さんを始め6人の指導者が前に出て、お手本を示す形で行いました。

本会場で行われたゲートボールの試合では、前回に続き宮崎市の「あおきチーム」が優勝しました。グラウンド・ゴルフでは、4パールのそれぞれの優勝者、内村幸男さん(85)小林市、湯浅貞治さん(87)宮崎市、寺尾敬子さん(73)日向市、萩原六雄さん(75)都城市の4人がプレーオフに臨み、接戦の末、Dパート優勝者萩原六雄さんが見事、総合優勝に輝きました。ちなみに今回は女性の優勝者が一人、3位が二人と健闘され、上位に名を連ねました。ベタンクは、今回も小林勢が健闘し、1位から4位までを独占しました。別会場の体育館で行われた四半的弓道では、知事の試射などで盛り上がりを見せましたが、団体では、前回に続き日向選抜が3連覇を果たしました。一方、個人での2連覇はありませんでしたが、日向選抜の小野原幸男さん(76)が、見事頂点に立ちました。試合の結果は下記のとおり。



◆平成27年度 第14回さんさんクラブ宮崎スポーツ大会 成績

ゲートボール	優勝		準優勝		3位	
	あおきチーム (宮崎市)		並木 (高原町)		えびの (えびの市)	
	金丸 菊司	82	久保 留吉	79	金原 幸男	82
	井野 三男	71	川辺 馨	84	池島 忍	89
	児玉 柁農夫	72	矢崎 克己	63	土田 ユミ	81
	中原 笑子	84	脇元 清人	87	池島 園子	72
	金丸 昭子	68	内村 文男	82	上村 トヨ子	76
			成見 了介	84		

四半的弓道	優勝		準優勝		3位	
	団体	日向選抜 (日向市)	日南A(日南市)		木城 (木城町)	
	三樹 正男	80	松井 鉄男	77	坂東 國臣	73
	小野原幸男	76	松下 修一	66	財津 和男	79
	幸 正憲	75	藤本 英利	72	池部 敬子	65
	疋田 義男	82	一番ヶ瀬満生	75	坂東 保子	73
	児玉 久光	76	小柳 正己	68	堀口 信夫	87
	井上 勝一	65				
	柏田 久	78				
個人	小野原幸男	76 (日向市)	尾形好子	61 (美郷町)	坂東國臣	73 (木城町)

グラウンド・ゴルフ	優勝		準優勝		3位	
	総合	萩原六雄 75 (都城市)				
Aパート	内村幸男	85 (小林市)	矢野 昇	70 (日南市)	鈴木エイ子	77 (高鍋町)
Bパート	湯浅貞治	87 (宮崎市)	野邊鉄雄	81 (宮崎市)	勦田一郎	78 (宮崎市)
Cパート	寺尾敬子	73 (日向市)	籾木一成	79 (西都市)	佐藤輝子	78 (宮崎市)
Dパート	萩原六雄	75 (都城市)	野辺光男	81 (串間市)	横山 昇	70 (宮崎市)

ベタンク	優勝		準優勝		3位		4位	
	永田町 (小林市)		銀杏C (小林市)		後川内2 (小林市)		真方二区A (小林市)	
	水口 義人	84	谷屋 逸士	79	木下 五男	83	針山 先盛	75
	上野トメ子	78	谷口エミ子	83	岡原 徳良	76	末永 三郎	76
	水口美代子	81	南 フタミ	85	木下タカ子	78	溝下 和子	83

元気インタビュー

今年の最高齢者

新富町老人クラブ連合会 富田正光さん



今年のスポーツ大会出場選手の中で、最高年齢の富田正光さん(94歳)を新富町の自宅に訪ねてインタビューしました。新富町老人クラブ連合会の谷口弘美さんも同席いただきリラックスした雰囲気の中でお話を伺うことができました。

何でも食べるし常に完食しています。焼酎は百業の長で欠かしたことはありません。定期的な通院はしているが、高血圧の薬を服用している程度です。

特にはないが、何事も目標を持ち継続してやるのが大切だと思うので、毎朝歩くことは続けていきたいです。

これからの目標は？
地域がまとまっており、自分に良くしてくれる。みんなと仲良く楽しく過ごしたいです。

他にしているスポーツはありますか
昔はゴルフをしていましたが、今はグラウンド・ゴルフと毎朝歩くことです。

IIありがとうございました。来年もスポーツ大会での元気なお姿をお待ちしております。

Q1 去年は局地的な大雨で中止になりましたが、今年はいい天気でしたね。成績はどうでしたか。
秋晴れのいい天気でしたね。第7回大会では準優勝したんですが、若い時のようにはいきませんね。

Q2 今大会の最高年齢者ですが、感想は
皆さんに迷惑を掛けるばかりで申し訳ないです。

Q3 元気の秘訣は？
毎日歩くことですね。早朝約4キロメートル歩いています。

90歳から始めたが、日本列島を往復したくらい距離になります。携帯に歩数・距離が表示されるのが楽しみです。「東海道53次」や「四国88カ所」、「奥の細道」、「熊野古道」等の踏破を目標に歩いています。今は「奥の細道」の3回目を目標に歩いています。

Q4 グラウンド・ゴルフの練習は
週に2回、15〜16人が集まり楽しくやっています。みんなの元気な顔を見たり話をするのが楽しみです。

Q5 他に健康維持の秘訣は
他に健康維持の秘訣は

インタビューは、50分程度でしたが、さわやかな笑顔と謙虚な態度が印象的でした。記憶力も良く、若い頃の話を交えながらインタビューにに応じていただきました。とても94歳とは思えません。今は、奥様と二人暮らしで同じ敷地内に次男家族が住んでおられます。

来年も、元気な姿を見せていただき、後に続く人たちの目標、希望そして励みとなつていただくとお願いしてインタビューを終えました。

富田さんは、地区で16組の仲立ちをされており、「正光会」を作ってくれているそうです。定期的に案内があり喜んで参加されている。

また、昔は民生委員(21年)や保護司(35年)の要職に就いておられたが、当時の地域での活動が今の日常生活の豊かさに通じているように感じました。非常に謙虚で気配りも忘れず、地域の皆様方から「おいさん」と呼ばれ親しまれている様子がかうかえました。

どうぞ、いつまでもお元気です！

今年度は、7月26日の県央地区を皮切りに9月29日まで間に、7地区・26老連の会長・女性部長、単位老人クラブの役員等約670名の参加のもと、「新地域支援事業」への老人クラブの対応」の演目で県長寿介護課高齢化対策担当の日高誠一郎主幹から講演をいただきました。

日高主幹からは、高齢者の雇用情勢や生涯現役社会の実現に向けた老人クラブ活動の推進等について説明の他、他県の活動事例について説明がありました。

また、介護保険制度の見直しにより、市町村は独自の地域支援事業に取り組み対応しなければならなくなったことについての説明がありました。これについては、老人クラブが日常取り組んでいる活動を理解してもらい、新地域支援事業に取り入れられるよう積極的に働きかけていくことが大切であるとお話でした。

これに対して、老人クラブの役割は何か、どのように関わっていくべきなのかを行政と意見交換を行う必要があるのではないかな等の意見が出されました。



シルバーボランティアリーダー研修会開催

「新地域支援事業」への老人クラブの対応
防ごう！高齢者の交通事故！



後半は、交通安全教育隊による「防ごう！高齢者の交通事故！」をテーマとして、シミュレーション機器を使った参加体験型研修を行いました。また、地元警察署からも講師として参加いただき、地域の交通事故の実情等について説明を頂きました。特に暗い夜道を歩行するときは、遠くからでも認識できる反射材の装着がより有効であるとのお話でした。何よりも夜は外出しないことが一番！とも・・・。

今回の研修会では、第4回目の西都・児湯会場からプログラムの中に「いきいきクラブ体操」の時間を取り入れ実施しました。各地区で、この体操も浸透してきている印象を受けました。来年度も引きつづき実施していきたいと考えています。



九州ブロック老人クラブリーダー研修会本県開催



▲大会式典の様子

連の大島義弘会長の司会と武田智子さんの記録の下、熱心な議論が進められました。第2部会は「友愛活動の推進」で、宮崎県社協の坂本雅樹部長を助言者として、宮崎市老連の濱砂盛男事務局長の司会と西川良子さんの記録の下、掘り下げた研

平成27年度の九州ブロック老人クラブリーダー研修会が、7月9日から10日にかけて、九州各県・指定都市から481人の老人クラブのリーダー並びに関係者の参加の下、宮崎観光ホテルを会場に盛大に開催されました。一日目は、宮崎市老連の会員で構成する「レインボーコーラスみやざき」の皆さんの混声合唱で格調高く開幕しました。開会式は宮原實九州各県・指定都市連合会会長の主催者挨拶と本県の松元道文会長の歓迎挨拶で始まり、河野俊嗣宮崎県知事、田村俊彦宮崎市副市長から祝辞をいただきました。研修会は初めに、最近の社会情勢を踏まえた全老連からの基調報告があり、そのあと、研修会のメインイベントである事例研究が3つの部会に分かれて開催され、それぞれ各県・指定都市の代表者が事例を発表し、活発な議論が行われました。第1部会は「健康づくり・介護予防活動の推進」で、宮崎大学医学部の渡辺伸二先生に助言者をお願いし、国富町高

究がなされました。第3研究部会は「会員増強の推進」をテーマに、宮崎大学の戸島信一先生を助言者として、日南市高連の弓削章会長の司会、松田美由紀さんの記録により活発な議論が行われました。この部会では、先達のな取り組みを行っている延岡市さんさんクラブ野地の原田格会長が本県を代表して事例発表し、会場に大きな反響を与えました。夜は来県いただいた県外の皆様の歓迎と、会員相互の交流を目的に懇親会が開催されました。その中で、宮崎市老連の皆様が絶大なご協力により、本県の伝統芸能などを披露いただき懇親会を大いに盛り上げることができました。



▲研修会の様子



▲宮崎県を代表して事例発表する延岡市さんさんクラブ連合会原田格副会長(中央)

二日目は、延岡市老連の上杉幸康局長と宮崎市老連の皆様の模範演技の下、いきいきクラブ体操でスタートしました。その後、地元の宮崎市生目台地区社協会長でNPO法人理事長として、地域に根ざした様々な活動を精力的に行われている矢方幸先生により「地域での高齢者の仲間づくりとささえ愛」と題して、高齢者の身近でかつ重要

な課題等についてご講演いただきました。次に、研修会の締めくくりの全体会が行われ、昨日の研究部会の結果報告が各司会者からなされました。各研究部会とも熱心に議論がなされ、充実した内容であったことを伺わせる報告でした。宮原九州連合会会長の閉会の挨拶を最後に、九州ブロックの二日間の研修が各県・指定都市のリーダー同士の間で情報交換を成果に終了しました。

お詫びと訂正

前回129号(2ページ)に掲載しました、「平成27年度健康ウォーキングモデル地区指定一覧」の中で、日南市平山高齢者クラブの所在地を大堂津と紹介しましたが、東郷の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

愛ちゃんと希望くん



この「県老連だより」は共同募金会の配分金で発行されています。

こんなのアリ!?と思ったら...
あきらめないでまず相談!!
消費生活センターからのお知らせ

こんな手口に
気をつけて! 物干し竿の移動販売トラブル

物干し竿をトラックの荷台に積んで「2本で千円」などと拡声器で呼びかけて、消費者が呼び止めると、高額な竿や支柱を強引に売りつけられることがあります。クーリング・オフ(解約)等が可能な場合もありますが、領収証が発行されない、架空の連絡先が記載されているなど、返金交渉等ができないケースが多くみられます。移動販売車の売り文句に惑わされず、呼び止めるのは、慎重にしましょう。

困った時は、消費生活センターへご相談ください。

- 宮崎 TEL 0985 (25) 0999
- 都城 TEL 0986 (24) 0999
- 延岡 TEL 0982 (31) 0999



老人クラブ 3つの保険 <掛金・保険金内容>

傷害保険

平成25年10月1日改定

① 総合型

< クラブ活動中・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般(24時間)のケガを補償します。 >

クラブ活動中のケガの場合は、(白地) + (補償別表) の合計 (黒色) の保険金額が支払われます。

クラブ活動中以外のケガの場合は、(補償別表) のみの保険金額が支払われます。

年間掛金	3,500円	5,000円	10,000円
ケガをした時の状況	活動型 活動中のケガの場合	総合型 活動中以外のケガの場合	活動型 活動中のケガの場合
補償内容	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合
死亡保険金	45万円 91万円 136万円	85万円 109万円 194万円	170万円 217万円 387万円
後遺障害保険金	45万円 45万円	85万円 85万円	170万円 170万円
入院保険金日額	1,000円 750円 1,750円	2,000円 950円 2,950円	4,000円 1,900円 5,900円
通院保険金日額	650円 500円 1,150円	1,300円 700円 2,000円	2,600円 1,400円 4,000円

※「総合型」の補償別表A欄は無職・事務職(傷害リスクの高い職業)等です。B版(傷害リスクの高い職業)については、下記をご確認ください。

注意 ●補償範囲に該当するおもな職種
建設作業、自動車運転者、探鉱・採石作業者などの傷害リスクの高い職業。
上記に該当する方は、保険金額が変更になります。
詳しくは取扱代理店もしくは引受保険会社にお問合せください。

② 活動型

< クラブ活動中とその往復途上(注3)のケガを補償します。 >

クラブ活動中のケガの場合は、(白地) のみの保険金額が支払われます。

クラブ活動中以外のケガの場合は補償されません。

年間掛金	500円	1,000円	2,000円
ケガをした時の状況	活動型 活動中のケガの場合	総合型 活動中以外のケガの場合	活動型 活動中のケガの場合
補償内容	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合
死亡保険金	45万円	85万円	170万円
後遺障害保険金	45万円	85万円	170万円
入院保険金日額	1,000円	2,000円	4,000円
通院保険金日額	650円	1,300円	2,600円

※1 後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%~100%が支払われます。)

※2 手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)、入院保険金日額の5倍または入院中は、10倍となります。

※3 往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、活動場所までの通常経路を指します。

クラブの全会員加入が条件です。 賠償責任保険 平成27年10月から一部改定

③ クラブ全員型

*印：改定

補償範囲：老人クラブ活動中の対人・対物の損害補償(車等の事故は、対象外)(注1)
管理下財物(注2)の損壊、紛失、盗取、詐取を補償します。但し、往復途上の事故およびご自身のケガは対象となりません。
注1)自動車(ゴルフカートを含みます。)、原動機付自転車、フル電動自転車、航空機、船舶(モーターボートを含みます。)*および銃器(空気銃を除きます。)*等の所有、使用等に起因する損害賠償責任等
注2)日本国内において被保険者(単位老人クラブ・会員)が占有または使用等している第三者の財物

掛金：クラブの全会員数×100円(但し、最低引受保険料3,000円*)

支払限度額：1億円 ※施設賠償責任保険：対人・対物(1名・1事故) ※詳細については、賠償責任保険の「概要・ご加入の際の注意事項」をご参照ください。
※生産物賠償責任保険：対人・対物(1名・1事故・保険期間中) (お支払される保険金は、事故の損害額や賠償責任割合に基づき、保険会社が査定いたします。)
※初期対応費用、訴訟対応費用特約：支払限度額500万円(1事故)も付帯されております。*

保険期間：毎年10月1日(午前0時)~翌年10月1日(午後4時)までの1年間

申込方法：毎年9月15日までに賠償責任専用の掛金払込用紙(払込取扱票)で掛金を払込みください。
加入時に会員名簿の提出は必要ありません。*

中途加入：「新規加入のクラブ」および「会員の追加加入」は可能です。
・「新規加入クラブ」：毎月15日までに掛金の振込で翌月1日からの加入となります。但し、保険期間は直近の10月1日までとなります。
・「会員追加加入」：届出は不要です。掛金は加入年に限り必要ありません。*

公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係
〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号

◆最寄りの市町村老人クラブ連合会に常席しています。
◆不足の場合は市町村老連を通じて下記までご請求ください。
専用FAX 03-3597-8767 (受付時間 9:30から17:00まで(土、日、祝祭日、年末年始休))
お問い合わせは **03-3597-8770**
ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> / 老人クラブ傷害保険 検索 メールアドレス hoken@senior-ltd.com

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769
(引受保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 TEL.03-3515-4144

この広告は、「老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険)」、「普通傷害保険」、「老人クラブ活動専用賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「老人クラブ3つの保険ご案内パンフレット」【概要・ご加入の際の注意事項】等をよくお読みください。ご不明な点等がありました場合には、全老連保険係または取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。

15-T01142 平成27年6月作成